

巻頭言 「SARS-CoV-2パンデミックとディスカッション」

本学会 理事・医療法人五星会 菊名記念病院 薬剤部 金田 昌之

2020年2月8日土曜日、ダイヤモンドプリンセス号の船外活動に関する打診が、神奈川県病院薬剤師会経由で入ってきた。まだこのころは、民間病院の一薬剤師にとって新型コロナウイルスの感染拡大はまさに対岸の火事で、のちにSARS-CoV-2と命名されるこのウイルスが国内で、世界でこれほどまでに猛威を振るうなど全く考えてもいなかった。その年1月初めの新年会でカゼをうつされて38℃以上の発熱があったが、1月半ばに開催される小さな学会の座長を依頼されていたのを強行し、フラフラになって帰ったということがあった。2月迄は研究会の研修会企画や病院薬剤師会の会議の後に居酒屋で「反省会」をし、諸先輩方や同志たちと口角飛沫することも頻繁であった。あれから1年半が経つが、今となっては全く考えられないことであり、逆にそのころは今の状況などみじんも予想していなかった。私にとっては2020年2月を境に世界が全く変わってしまった。

大変な緊張感の中、業務に当たり、また生活をしてしたが、2020年4月に当院の職員中心に院内クラスターが発生した。1か月程度救急外来、新規入院を止めざるを得ず、4月5月の2か月で数年分の赤字が出ることとなる。感染制御の一環として院外での活動はもとより、院内での会議、研修会にも制限がかかるようになった。対面での情報伝達などはできる限り最小限にとどめるとのことで、院内、部内の情報伝達はメッセージングアプリを活用する機会がぐんと増えた。院内院外においても、「人と話す」という行為が随分減った。

5月ごろからZOOMなどの遠隔会議システムを活用しようという動きが出てきて、病院グループ、病院薬剤師会、研究会などの会議や研修会、就職説明会などで活用すべく、アプリの使用法の練習や、カメラやマイク、ヘッドセットなどの調達に走った。使用方法に慣れるまで少々の練習と時間を要したが、夏前にはある程度使えるようになり、なかなか便利なものだと思うようになった。院外の会務も、交通費や往復の時間がかからない。コロナ禍の中でも人と話すことができる。座学の研修会では、自分が発言する機会が無ければ、通勤・帰宅の電車の中でも聴講でき、時間の節約になる。発信地から遠方の人も参加できる。スモールグループディスカッションも多少(かなり?)苦労は伴うが、できないことはない。遠隔会議システム以外のホワイトボードシステムなどのツールが必要になり、ある程度の通信環境やPCの性能を要求され、何より使用する人間のコンピューターへの対応性能も試されるが、新型コロナ禍以前では、こんなに簡単に、また安価に、オンライン会議、オンラインセミナーができるようになるとは全く考えてもいなかった。しかし、これで新型コロナ禍における「人と話す」という行為が、それ以前と同様の質で出来るようになったかという点、それは当然Noである。この1年ほどの遠隔会議システムの使用の中で、会議に集まった数十人の中で一人二人に「あの時は有難うございました。」などとちょっと立ち話でお礼を言うこともできない。ちょっとしたノンバーバルな反応、相槌が伝えられない、または受け取れないということは実感している。座学の講義をする時の手ごたえの無さには驚く。大変な緊張しいの私が、あまり緊張しないで済むのだが、それは「人に向かって話をしている」という感覚の欠如なのだろうか。

議論を尽くすことが最も大切なファクターの一つである、バランスト・スコアカードにおいて、長時間にわたる、密な口角飛沫を何らかの形で(できれば以前のように同じ場所に集まり)できるようになるよう工夫していかなくてはいけないし、何より飛沫や接触を恐れない世の中に戻ってほしいと心から祈っている。

1. 臨時社員総会報告

第7回社員総会報告

2021年6月26日(土)第7回社員総会が開催された。議案は次の通りである。

- ・第1号議案 2020年度事業報告について
- ・第2号議案 2020年度決算報告について
- ・第3号議案 2021年度事業計画について
- ・第4号議案 2021年度予算について
- ・第5号議案 理事選任に関する件

(2020年度決算報告については、第6回理事会報告をご確認ください。)

2021年度事業計画について

【ファシリテーション研修】

- ・2021年7月31日(土):理論編
- ・2021年10月16・17日(土・日)予定:実技編
- ・2021年12月5日(日)予定:BSC実践指導者認定試験

【導入ワークショップ】

- ・2021年10月16・17日(土・日)予定

【学会誌関連】

- ・第18巻1号の刊行
- ・学会誌の電子化
- ・J-STAGEへの準備

【研究関連】

- ・BSC導入病院を対象に「コロナ禍にいかに対応したか、乗り越えたか」についての調査に関しては、時期を熟慮して、他の学会の同様な研究を見ながら計画する
- ・日本医療バランスト・スコアカード研究学会賞に関する規定整備・実施

【広報関連】

- ・ニュースレターの配信(4回/年)

2021年度予算について

2020年度は黒字決算により、前年度繰越金は例年より多くなっている。2021年度は導入ワークショップを年1回開催予定のため予算を33万円とし、学会誌の電子化新規分は今年度補正予算を組んだため20万円と少なくなっている。

新理事選出について

長谷川恵一氏(早稲田大学商学学術院)を理事に選任したいと提案があり、満場一致で承認された。今年度より、学会誌編集委員会の委員長を担当される。

2. 理事会報告

第6回理事会報告

2021年6月10日(木)に第6回理事会がZoom会議にて開催された。

本理事会では、主に第7回社員総会開催について、2020年度決算報告及び承認について協議がなされた。決算報告では、2020年度はコロナの影響により、本学会の主事業である、学術総会や導入ワークショップ等の活動ができず、それらの収支はともに0円であったが、持続化給付金が200万円交付されたことにより、結果黒字若干の決算となったことが報告された。

続いて、監査報告され、質疑はなく、2020年度決算が承認となった。その他、各委員会の活動報告があり、研修委員会からは、導入ワークショップを10月16日(土)、17日(日)で予定している。認定指導者委員会からは、理論編を7月31日(土)にて開催決定し、ホームページ上にて参加募集を行っている。広報委員会より、ニューズレター41号を5月24日に発刊したことが報告された。

3. 学会賞規程改定報告

昨年制定された学会賞規程が、前回の臨時理事会で改定されました。学会賞の目的は「一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会が、医療バランスト・スコアカード研究の活性化、発展、深化、及び医療バランスト・スコアカードの普及に資するため、会員の優秀なる著書論文や学会報告等および本学会の運営・発展に顕著な功績を残した者を顕彰することを目的とする。」と第1条で定められています。学会賞には3種類あります。

学会賞(学術賞)は、医療バランスト・スコアカードの調査研究において、医療・福祉を研究対象とする、BSCに関連した優れた論文を本学会の「医療バランスト・スコアカード研究」に研究論文(原著・総説)として掲載された会員を表彰します。

学会賞(実践賞)は、医療機関等への医療バランスト・スコアカードの導入、実践において、本学会の「医療バランスト・スコアカード研究」に事例研究として掲載された優れた報告あるいは学術総会や研究委員会が主催するBSCフォーラムで優れた発表をされた個人あるいは組織を表彰します。

学会賞(功労賞)は、一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会の運営、発展に寄与した功績を残した者を表彰します。

学会賞の審査対象の期間は、学会賞(学術賞)および学会賞(実践賞)の審査は、毎期4月1日より翌年3月31日までの期間としています。学会賞(功労賞)の審査は、学会の設立から現在に至る学会の運営、発展に寄与した功労等を対象とします。但し、審査時点で、表彰対象は、当該年度まで会費を納めている個人会員または賛助会員に限ります。

審査は、研究委員会委員長および研究委員会担当理事と研究委員会委員長が推薦し、研究委員会担当理事が承認した3名の会員、計5名で審査委員会を構成し、審議します。

3種類の学会賞共に、賞状と賞金3万円を授与し、学術総会で表彰します。

なお、審査対象として、自ら応募することも、研究委員会が前年度の論文や発表から推薦することもできますので、奮ってご応募ください。現在、審査委員会が立ち上がり、審査を行っています。

詳細は、ホームページの学会賞に関する規程(「学会について」タブの「定款・規定」にあります)をご一読いただき、ご不明な点は、学会事務局までお問い合わせください。

会員の皆様の積極的なご応募をお願いいたします。

4. 今年度の予定

一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会
2021年度 学術総会、HBSC導入ワークショップ、HBSC認定指導者研修会
日程のご案内

本日程は、新型コロナの感染状況によって変化する場合がありますので、学会事務局にご確認くださいませようお願い申し上げます。

尚、本年度は、HBSCフォーラムおよび基礎理論講座は、中止いたします。

【学術総会】

第18回日本医療バランスト・スコアカード研究学会学術総会

9月25日(土)(オンライン開催)

完全オンライン開催で、会員の参加費は無料となります。

一般演題の登録も開始いたしました。

要綱をご一読の上、積極的なエントリーをお願い申し上げます。

学術総会URL ⇒ <https://www.hbsc18.madhere.co.jp/?siteRevision=312>

- テーマ: 地域共生社会における協働・連携とBSC
- 学術総会長講演: 「地域共生社会における医療」 赤瀬朋秀(日本経済大学教授)
- シンポジウム(医療チームにおけるBSCの活用をテーマに演者選定中)
- 教育講演 「HBSCの誕生・発展・成果
一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会の20年の軌跡」(仮)
高橋淑郎(日本大学商学部特任教授/一般社団法人日本医療バランスト・スコアカード研究学会理事長)
- 特別講演 : 「外科医、薬局に帰る」(仮)
狭間研至(ファルメディコ株式会社代表取締役社長/一般社団法人日本在宅薬学会理事長)
- 特別セミナー(企業協賛): 「急性期病院におけるSkill Mix型チーム医療」(仮)
谷口英喜(済生会横浜市東部病院患者支援センター長)
- 一般演題

研修委員会 所管

【HBSC導入ワークショップ】

10月16日(土)、17日(日)

土曜日 13:00開始 18:00終了

日曜日 9:00開始 16:00終了 予定

日曜日は、16:00終了予定ですが、進捗によって、終了時間が延長される場合もありますので、若干遅めの飛行機や列車をご予定ください。

・原則として対面を予定していますが、新型コロナの状況によっては、オンラインホワイトボードシステムなどを使用して実施する可能性もあります。

・会場は、渋谷駅近くを予定していますが、東京駅、新宿駅近くに変更する場合があります。8月には詳細を決定いたします。

・会場は、広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

認定指導者試験委員会 所管 <<HBSC実践指導者研修会>>

①理論編研修会 7月31日(土) 10:00開始 16:00終了 **(※終了しました)**

②BSC実務編研修会

10月16日(土)、17日(日)

(HBSC導入ワークショップと同時開催)

土曜日 13:00開始 18:00終了

日曜日 9:00開始 16:00終了 予定

・16:00終了予定ですが、進捗によって、終了時間が延長される場合もありますので、若干遅めの飛行機や列車をご予定ください。

・原則として対面で行う予定ですが、新型コロナの状況によっては、オンラインホワイトボードシステムなどを使用して実施する可能性もあります。

・会場は、広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

③BSC実践指導者認定試験

12月5日(日)

10:10から11:00 理論試験。

11:20から16:00 実技試験 予定しています。

・会場は、渋谷駅近くを予定しています。広めの会場を準備しています。ソーシャルディスタンスを十分とり、換気を適切にとります。

日程や時間に変更等がありましたら、ホームページ上にてお知らせいたします。